

# フォナック ターゲット 6.2

## 検証用フィッティングガイド

このガイドは、迅速かつ正確に検査を完了させるために従うべき手順をまとめたものです。検査システムは、使用可能な刺激の種類および結果の表示方法と必ずしも一致していません。加えて、圧縮、周波数低下、雑音管理などのさまざまな変数があり、利得と MPO 設定の検査に影響を与えます。こういった課題を解決するために、フォナック ターゲットには検査プロセスを簡略化し、能率化する便利な検査用の設定があります。フォナック補聴器のプログラミングとフィッティングに関する詳細は、フォナック ターゲットフィッティングガイドを参照してください。

### 目次

準備.....	2
補聴器の接続.....	2
RECD .....	2
フィッティング処方.....	3
検査用の設定 .....	4
フィッティングセッションの終了.....	5
記号のインフォメーションと説明およびシステム要件.....	5

## 準備

まだ顧客情報を入力していない場合は、**[Client & sessions]** に入って入力します。補聴器に検査用の準備を行うために、好きなフィッティング機器を使用し補聴器を接続します。

➔ 検査用の設定には、補聴器が接続されているときしかアクセスできません。

## 補聴器の接続

メイン画面上端の中央に配置されているドロップダウンメニューから、補聴器をプログラミングする方法として**[NOAHlink]**、**[iCube]**、**[iCube II]**、**[HI-PRO]**/**[Noahlink Wireless]** のいずれかを選択します。

ワイヤレスフィッティング機器を使用する場合は、補聴器に新しい電池を入れてください。**[追加]** をクリックして、補聴器との接続を確立します。

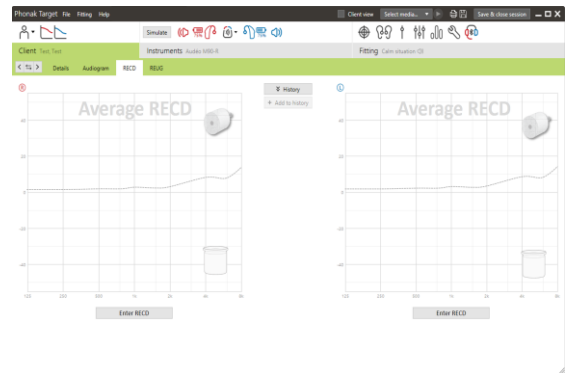


補聴器が接続されたら、**[音響パラメータ]** 画面が自動的にポップアップ表示されます。カップリングのオプションを確認するか、必要に応じて変更を加えてフィッティングに対応するようにします。

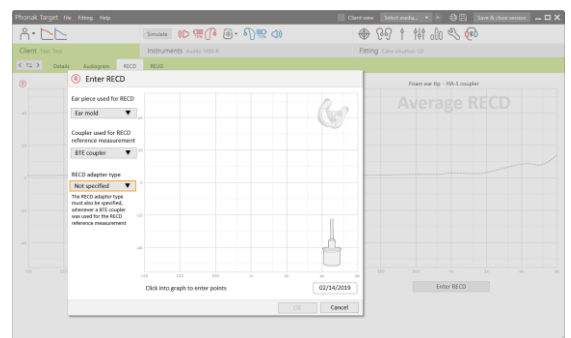
## RECD

RECD 値には、**[顧客]** の **[RECD]** からアクセスできます。フォナックターゲットでは、以下の異なる複数の RECD 値を使用できます。

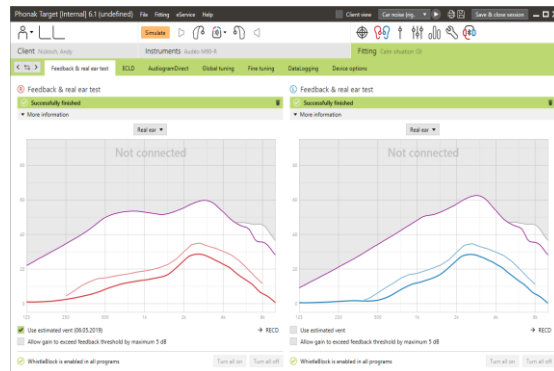
平均 RECD はフォームチップ RECD 値で、HA-1 カプラ、個人の年齢、使用するフィッティング処方に基づきます (DSLv5 または NAL-NL2)。



検査機器から測定 RECD は、**[RECD を入力]** をクリックし、ターゲットに入力できます。カプラ (HA-1 または HA-2) と RECD アダプタータイプ、耳栓 (イヤモールドまたはフォームチップ) を選択します。



既存の RECD をノアからインポートするには、**[+ Add to history]** をクリックします。使用可能な RECD を表示するには、**[履歴]** をクリックし、フィッティングに適用する RECD を選択します。未入力の RECD 情報がある場合、ターゲットでは、未入力の耳栓、カプラ、または RECD アダプター情報を入力するようプロンプトします。



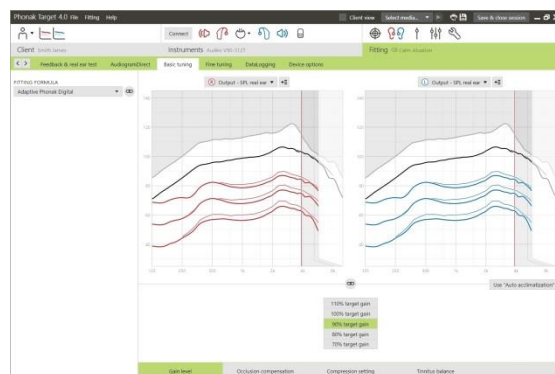
成人の耳の特性とハウリングテストの結果に基づいてされた推測した RECD が使用されます。この RECD をフィッティングに適用するには、ハウリングタブで **[推測したイベントを使用して補聴器設定を再計算します。]** をクリップします。

## フィッティング処方

小児フィッティングの場合、ジュニア モードでは、小児の年齢に基づき初期設定のフィッティング処方が自動選択されます。

**[基本調整]**画面で、希望するフィッティング処方を選択できます。

基本調整には、**[フィッティング]** の **[基本調整]** からアクセスできます。



## 検査用の設定

検査用の設定にアクセスするには、**[微調整]**、**[利得&MPO]**を選択し、**[検査用の設定]**をクリックします。

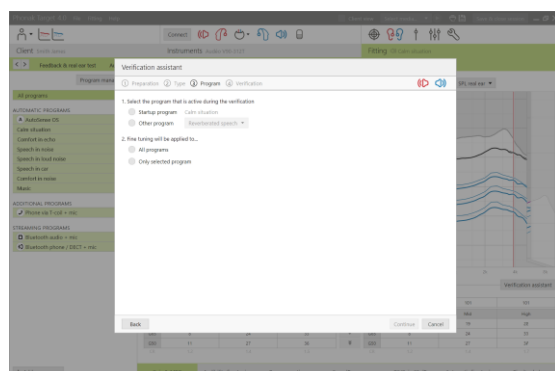
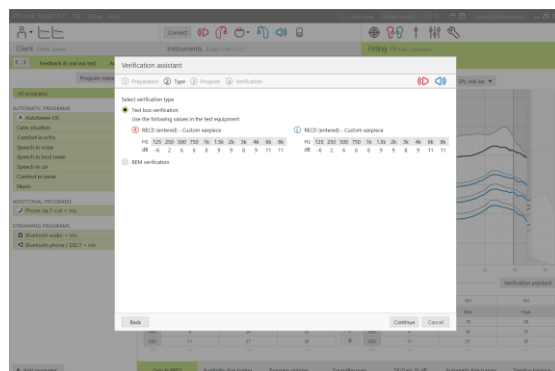
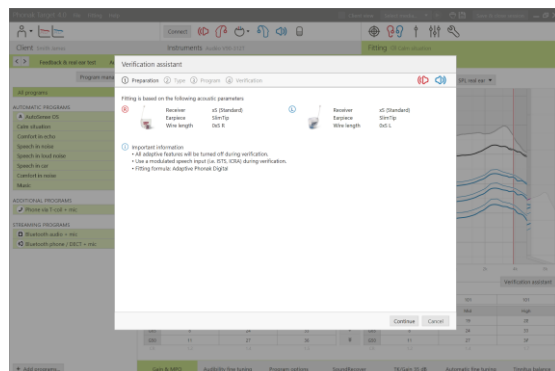
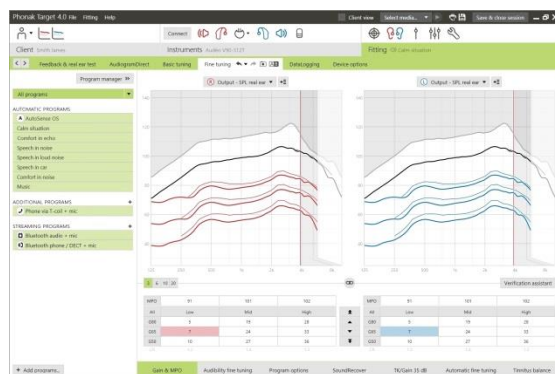
その後は、アシスタントの指示に従って一連の手順を行います。

**ステップ 1 [準備]:** このステップは、フィッティングに適用する音響パラメータとカップリングの確認から開始します。

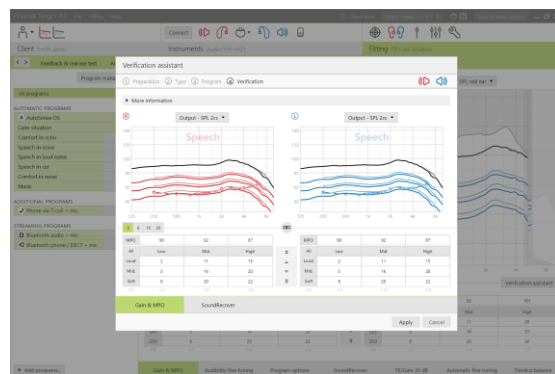
**ステップ 2 [タイプ]:** 次のステップでは、テストボックスと REM 検査のどちらを実行するのかを決定します。テストボックスを選択した場合、フィッティングに適用される RECD が強調表示されます。REM の場合は、いくつかの便利なヒントが表示されます。

**注:** テストボックス検査を行う場合は、RECD 値を確認し、検査機器に一致することを確認します。

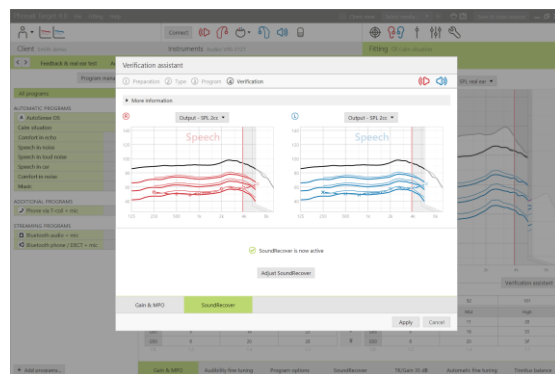
**ステップ 3 [プログラム]:** 検査中に有効にするプログラムを選択し、調整内容を有効なプログラムに適用するのか、それとも全てのプログラムに適用するのかを指定します。



ステップ 4 **[検査]**: このステップでは、補聴器のすべての適応機能が無効になり、利得と MPO の調整が可能になります。実行する検査のタイプに対応して利用可能なカーブが表示されます。テストボックスでは、2cc 出力カーブまたは 2cc 利得カーブが示され、実耳ではインサージョンゲインカーブまたは実耳 SPL 出力カーブが示されます。



サウンドリカバーを有効にするには、ウィンドウの下部にある**[サウンドリカバー]**タブを選択します。設定を変更するには、**[サウンドリカバーを調節]**をクリックします。すべての調節内容が、現在のセッションに適用されます。



補聴器をミュートしたりミュート解除したりすると、カーブ表示の上側に透かし模様（「ミュート」または「ことば」）が現れます。ことばの透かし模様は、ターゲットマッチングを最適化するための推奨入力信号をユーザーに知らせるために表示されます。

**[適用]**をクリックして、加えた調整内容を確定し、標準のフィッティング・モードに戻ります。初期設定では、サウンドリカバーが再有効化されます。検査中に加えた調整内容のうち破棄したいものがある場合は、**[キャンセル]**をクリックします。

## フィッティングセッションの終了

画面右上隅にある**[セッションを保存して閉じる]**をクリックすれば、いつでもセッションを閉じられます。保存ダイアログで、補聴器が正常に保存されたことを確認できます。保存し終わると、自動的にフォナックターゲットの開始画面に移動します。

## 記号のインフォメーションと説明およびシステム要件

記号のインフォメーションと説明およびシステム要件の概要はフォナックターゲットフィッティングガイドで確認できます。

CE マークには、2020 年に取得しました。



製造元:  
Sonova AG  
Laubisrütistrasse 28  
CH-8712 Stäfa  
Switzerland